

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	あしかが映像まつり
事業主体の名称	あしかが映像まつり実行委員会
代表者の名称	吉田 哲也
事業主体の所在	足利市本城3丁目2145
事業主体の概要	<p>・団体の目的:市民へ映像に触れる機会を提供するとともに、映像を入口とした観光誘客、商業振興を目的に実施する「あしかが映像まつり」の円滑な運営を図る。</p> <p>・設立年月日:平成27年8月10日</p> <p>・構成員等:本市出身又は本市にゆかりのある映像関係者、市内関係団体から推薦を受けた者ほか</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	足利市では、第7次足利市総合計画の戦略プロジェクトに「映像」をキーワードとした街づくりを目指した「映像のまち構想プロジェクト」を掲げ、映像制作やロケーション活動の拠点づくり等の実現に向け様々な事業を展開している。今後の課題は、「映像のまち」に対する市民意識の醸成を図るとともに、観光誘客及び関連産業の誘致に向け、どのようにPRしていくかである。
事業目的	「映像のまち」が市民意識に浸透し、風土や文化として息づくまちの実現を目指しながら、歴史、文化、自然などの地域資源を活用し、まちの魅力をさらに高め、これらを活用した観光誘客の活性化を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>> 第1弾『中橋リバーサイドシネマ』</p> <p>・目的:足利の自然と街を感じられる場所で映画に触れる機会を提供し、市民にとってあたりまえとなっている足利の魅力再発見と映画の新しい楽しみ方を提案すること</p> <p>・実施日:平成30年9月15日(土)</p> <p>・実施内容:映画『ペット』の野外上映等</p> <p>・来場者:320名</p> <p>・会場:中橋緑地南多目的広場(南町4251)</p> <p>> 第2弾『聖地!西高学園祭』</p> <p>・目的:開放機会のない西高を満喫してもらうとともに、『映像のまちあしかが』の活動を目に見える形で示し、これまでの取り組みの成果を伝え、これからの取り組みへの理解者を増やすこと。</p> <p>・実施日:平成30年10月27日(土)</p> <p>・実施内容:展示ブースの設置、ロケ映画の上映、校内ツアー等</p> <p>・来場者:3200名</p> <p>・会場:旧足利西高校(大前町103-11)</p> <p>> 第3弾『まちなかシネマDAYS』</p> <p>・目的:3日間に渡り、普段と一味違った映画などの楽しみ方をまちなかで提供することによって、『映像のまちあしかが』を実感してもらうこと</p> <p>・実施日:平成31年2月22日(金)、23日(土)、24日(日)</p> <p>・実施内容:トークショー付き上映、まちなかロケ地巡りレクチャーの実施等</p> <p>・来場者:1250名</p> <p>・会場:ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが(大月町3-2)、足利商工会議所(通3丁目2757)、旧東映プラザ(井草町2408-1)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】まちの魅力を高め足利へのひとの流れをつくる</p> <p>【KPI】観光入込客数 基準値:H26年度 355万人 → 目標値:H31年度 386万人</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	映画上映イベント等	映画上映イベント等	映画上映イベント等		
事業費	3,576,541	3,361,353	3,002,111	9,940,005	3,200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,955,925	3,001,041	2,700,000	8,656,966	2,700,000
うち県交付金	1,477,962	1,500,520	21,518	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	620,616	360,312	302,111	1,283,039	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	映像のまち推進課
担当者名	松浦
電話	0284-20-2260
FAX	0284-21-1384
E-mail	eizo@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	あしかが映像まつり	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	2,700,000	あしかが映像まつり交付金(足利市)
販売収入	302,100	チケット販売収入・売店収入
雑入	11	利息
計	3,002,111	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	148,233	148,233	21,518	0	ゲスト出演料
旅費	10,800	10,800	0	0	交通費
消耗品費	164,105	164,105	0	0	文房具、装飾品等
燃料費	4,590	4,590	0	0	灯油代
食糧費	140,909	81,798	0	59,111	ゲスト昼食代等
印刷製本費	569,017	326,017	0	243,000	ポスター、チラシ等
通信運搬費	7,288	7,288	0	0	郵送料
手数料	20,184	20,184	0	0	振込手数料、チケット販売手数料
保険料	33,600	33,600	0	0	イベント保険等
使用料及び借用料	1,029,385	1,029,385	0	0	映画素材借用料、映画館貸館料等
備品購入費	874,000	874,000	0	0	スクリーン購入費等
計	3,002,111	2,700,000	21,518	302,111	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	演芸によるふるさとまちおこし寄席
事業主体の名称	ふるさとまちおこし寄席実行委員会
代表者の名称	会長 浜田陽一
事業主体の所在	〒320-8601 足利市本城三丁目2145(観光振興課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:この会の趣旨に賛同する者が連携して、演芸を活用しながら地域の発展及び活性化に寄与すること ・設立年月日:平成25年5月8日 ・構成員等:三遊亭歌橋、ブラザハマダ、足利市観光協会、足利市 等
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市には落語界で栃木県初の真打となられた「三遊亭歌橋」師匠がいます。 ・演芸の中でも特に落語はNHK教育テレビでも取り上げられ、子供たちにも親しまれております。古典落語は、江戸時代から明治時代にかけて庶民の生活を伺い知ることができるとともに、人にわかりやすく物語を伝えることができる「話術」であり、後世に残していくべき伝統芸能です。 ・演芸界には、足利市出身の演芸実演者が活躍していますが、足利市ではその人材を活かしていない現状があります。 ・演芸界における著名人のSNSを使用した拡散は大きな効果があり、あしかが輝き大使である「三遊亭歌橋」師匠を通じた情報発信は、足利の魅力発信に大きな効果が期待できます。 ・演芸のまち「浅草」と足利市は東武伊勢崎線が繋がっています。浅草での情報発信は足利へ観光誘客を図るには効果が高いと考えられます。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各地において寄席を定期的に開催することにより、地域活性化につなげるとともに観光ツアーの造成につなげる。 ・首都圏での演芸場等でPRすることにより新たな観光誘客につなげる。 ・落語や漫才など「話す」ことを主とした演芸に触れることにより、市民の「国語力」向上につなげる。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①ふるさとまちおこし寄席の開催 日時:5月20日、10月28日、ほか 開場:正午 開演:午後1時 場所:足利市民プラザ小ホール 内容:足利落語道場の発表会及び演芸実演者による寄席</p> <p>②寄席開催にかかる広告物の作成 広告物の内容:チラシ、ポスター 広告物の配布先:チケット販売所、観光拠点施設、公民館、飲食店、商業施設 など</p> <p>③落語道場の実施 日時:年7回の開催 場所:足利まちなか遊学館ほか(通一丁目) 内容:三遊亭歌橋師匠による落語の指導 ※出演者や関係者のSNSにより寄席の情報や足利市の情報の拡散を図り、足利市の魅力を発信する。 【KPI向上に繋がる取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あしかが輝き大使である「三遊亭歌橋」師匠をはじめ、出演者や関係者等の演芸界における著名人のSNSにより寄席の情報や足利市の情報の拡散を図り、足利市の魅力を発信する。 <p>【平成31年度】</p> <p>継続的な実施により、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H26 355万人 → H31 500万人</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ふるさとまちおこし寄席の開催 ②寄席開催にかかる広告物の作成 ③落語道場の実施	①ふるさとまちおこし寄席の開催 ②寄席開催にかかる広告物の作成 ③落語道場の実施	①ふるさとまちおこし寄席の開催 ②寄席開催にかかる広告物の作成 ③落語道場の実施		①ふるさとまちおこし寄席の開催 ②寄席開催にかかる広告物の作成 ③落語道場の実施
事業費	1,813,731	1,097,007	1,000,000	3,910,738	760,000
市町支出金 (ソフト事業分)	480,000	480,000	480,000	1,440,000	240,000
うち県交付金	240,000	240,000	240,000	720,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,333,731	617,007	520,000	2,470,738	520,000

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	吉澤 剛
電話	0284-20-2165
FAX	0284-43-3333
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	演芸によるふるさとまちおこし寄席	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	480,000	
諸収入	545,000	入場料(全席自由 前売1,000円、当日1,500円)
繰越金	72,006	平成29年度残額
利子	1	
計	1,097,007	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	570,000	480,000	240,000	90,000	5/20 170,000円、10/28 400,000円
消耗品費	6,054	0	0	6,054	クリアホルダー、サイン色紙 他
食糧費	40,010	0	0	40,010	出演者、スタッフ食事代
印刷製本費	97,140	0	0	97,140	チラシ・ポスター・チケット製作 費、番組表印刷代
手数料	7,100	0	0	7,100	チケット販売手数料
使用料及び賃借料	0	0	0	0	会館・器具使用料(減免)
次年度持ち越し	376,703	0	0	376,703	
				0	
計	1,097,007	480,000	240,000	617,007	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利冬物語
事業主体の名称	足利冬物語実行委員会
代表者の名称	委員長 早川慶治郎
事業主体の所在	〒326-8502 足利市通三丁目2757
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: まちなかが閑散としがちな冬季に賑わいを創り出そうと新しいイベントを創出する ・設立年月日: 平成27年12月4日 ・構成員等: 足利市、足利商工会議所、足利市観光協会、足利市農業協同組合 ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市には、歴史、文化、自然その他の豊かな地域資源があります。その資源を磨き上げ、まちの魅力としてさらに高め、観光と交流の活性化を図る必要があります。 ・地域資源を発掘し、その資源を活用した新商品を開発し、新たな誘客と、来訪者の宿泊や飲食などの消費行動を促進し、中心市街地及び市内全域の経済活性化を図る必要があります。 ・現在、観光プロモーションにおいて、四季のイベントや祭事を取りまとめ、情報発信をしています。その中で冬季はまだ資源が乏しく、中心市街地も閑散とした雰囲気が漂っています。 ・その中において、毎年2月3日の節分に実施されている「節分鎧年越し」があります。鎧行列の武将の姿は外国人にも人気が高く、平成31年2月3日は日曜日となります。これを機会に、「節分行事」と「鎧行列」を分離し、週休日の夕刻からの開催で定着させることを検討します。
事業目的	「足利冬物語」として、100年以上にわたり実施されている伝統行事「節分鎧年越し」と食のイベント「足利風土祭」、行灯でまちなかを彩る光のイベント「足利銘仙灯り」を実施することにより冬季における市内への観光誘客を促進し、回遊性を高めます。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■足利冬物語の開催</p> <p>①足利風土祭の実施 期間: 2月1日(金)~28日(木) 場所: 市内飲食店、ギャラリー など 足利の食文化の活性化・芸術文化の再認識・農と食の安全安心をアピールすることで街の活性化につなげるイベントの開催 内容: 飲食店が企画したイベントを足利産の食材を使った料理とともに楽しんでもらうコース「FOODコース」、ギャラリーや画廊が足利ゆかりの作家の作品を展示するコース「ARTコース」を実施。</p> <p>②ほろ酔いウォークの実施 期間: 2月1日(金)~2月28日(木) 場所: 市内飲食店 内容: 市内49店舗の飲食店が自慢の料理と飲み物を1,000円のセットとして提供。</p> <p>③鎧年越しの観光商品化 期日: 2月3日(日) 場所: 織姫公民館~鏡阿寺 内容: 足利市の冬の伝統的行事である「節分鎧年越し」を実施し、外国人観光客や市内外からの誘客につなげる。</p> <p>④足利銘仙灯りの実施 期間: 2月1日(金)~3月3日(日) 場所: 足利織姫神社や中心街の右置通り、など 期間中の夕刻に幻想的な雰囲気演出し、市内回遊を図り、まちなかの活性化につなげる。 内容: 足利市の織物業の中心であった足利銘仙は斬新な図柄が人気を誇った。その図柄を活用した行灯を街の中に設置。</p> <p>⑤学び舎のまち足利「学びまらぜみIN足利」の実施 期間: 2月1日(木)~28日(金) 内容: 市内53店舗の店主等自ら講座を企画し、講師となってその店舗ならではの専門知識やプロのコツを伝授する。78講座を実施。</p> <p>⑥あしが映像まつりの実施 期間: 2月22日(金)~24日(日) 内容: 足利市内で撮影が行われた映画、足利市にゆかりのある映画などの上映や映画監督のトークショー等を実施。</p> <p>⑦刀剣展「堀川國廣とその高弟」の実施 期間: 2月1日(金)~3月3日(日) 内容: 堀川國廣と國廣一門が打った刀剣11振り等を展示する。</p> <p>【KPI向上に繋がる取組】 閑散としがちな冬の時期に、食のイベントや夜のコンテンツを提供することにより、まちなかの回遊性向上と滞留時間の延長を図る。</p> <p>【平成31年度】 継続的な実施により、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H26 355万人 → H31 500万人</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①鎧年越しの観光商品化 ②足利風土祭の実施 ③足利銘仙灯りの実施	①鎧年越しの観光商品化 ②足利風土祭の実施 ③足利銘仙灯りの実施	①鎧年越しの観光商品化 ②足利風土祭の実施 ③足利銘仙灯りの実施		①鎧年越しの観光商品化 ②足利風土祭の実施 ③足利銘仙灯りの実施
事業費	5,396,361	4,284,741	2,000,000	11,681,102	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,396,361	3,284,741	1,000,000	0	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	久保 康弘
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利冬物語	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	1,000,000	
商工会議所負担金	3,036,740	
協賛金	150,000	3社
雑収入	98,001	ほろ酔いウォーク参加費@2,000×49店分、利息
計	4,284,741	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	1,338,768	1,000,000	500,000	338,768	ポスター(B1 300枚(JR・東武)、B2 200枚(店舗等)等
消耗品費	5,026	0	0	5,026	資料印刷用紙代等
委託料	320,000			320,000	仮設電気工事費、行灯設置工事費
事業費	2,620,947	0	0	2,620,947	行燈借り上げ費、鏝年越し助成金等
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	4,284,741	1,000,000	500,000	3,284,741	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	観光サポーターズ事業
事業主体の名称	一般社団法人足利市観光協会
代表者の名称	代表理事 早川慶治郎
事業主体の所在	〒320-0037 足利市伊勢町三丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日:平成26年10月1日 ・構成員等:観光振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>足利市内における観光を推進していく中では市民の協力は不可欠であります。観光の魅力を最大限に情報発信するには、「足利を愛し、足利の知識がある」方に担っていただく必要があります。観光のまちづくりを推進するためには、「おもてなし」意識を皆が持ち、市民の皆様は観光地としての意識改革をしなければなりません。観光誘客におけるキャンペーンなどでは、職員が実施している現状であり、人件費の負担が大きくなっています。観光ボランティアガイドの皆さんは知識も豊富で活躍をされており、しかし、新たに加入しづらい状況がみられます。</p>
事業目的	<p>足利市内における観光を推進するために市民協力がしやすい環境を整えます。観光のまちづくりを推進するために、「おもてなし」研修会を開催し、市民の皆様は観光地としての意識改革を図ります。足利が大好きな方が、市外の皆様に足利の良さを伝えることにより、より高い高感度を得られることが期待できることから、観光に携わるアシスタントを公募し、登録していただき、様々な観光誘客の機会に活躍していただきます。観光ボランティアガイドを大きな枠の中で活動していただき、相互協力体制を作って、互いに関心を示していただき、加入しやすい環境を作ります。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 ①観光案内人の育成と常駐体制の整備 常駐案内期間:4月21日～5月20日、10月20日～11月25日の土日祝日など 計30日間 1,597件 5,708人案内 296人従事 先進地視察研修:9月18日 ボランティアガイド研修会:7月12日～9月10日まで6日間開催 内容:史跡足利学校に常駐して観光案内を実施することにより足利の魅力を高めるとともに郷土愛の醸成を図った。また、案内のスキルアップとして自主研修会を実施した。 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築 実施日:観光キャンペーンや旅行会社からの依頼等に対応した。 内容:観光に係る活動をしたい市民の方に登録していただき、観光事業の際に自分の得意分野を活かして活躍していただく制度。 ③市民ボランティアガイドの育成 実施日:2月16日 プロのバスガイドからおもてなしの心やお客様への分かりやすい案内などを学び市民一人一人が「おもてなしガイド」になれる心を得る機会を創出した。 【KPI向上に繋がる取組】 ・ボランティアガイドのスキルアップや観光アシスタントの活用により、観光客への質の高いおもてなしを図り、リピーターの獲得に繋げた。</p> <p>【平成31年】 継続的な実施により、参画者の増加と事業の拡大を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値) 【KPI】H26 355万人 → H31 500万人 【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築 ③外国語ボランティアガイドの育成	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築 ③外国語ボランティアガイドの育成	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築 ③外国語ボランティアガイドの育成		①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築 ③外国語ボランティアガイドの育成
事業費	1,196,734	904,746	1,020,000	3,121,480	1,020,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,196,734	904,746	1,020,000	3,121,480	1,020,000
うち県交付金	598,367	452,373	510,000	1,560,740	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	久保 康弘
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	観光サポーターズ事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	904,746	
計	904,746	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	417,600	417,600	208,800	0	常駐案内費用弁償 347,600円 マッチング経費 70,000円
消耗品費	61,015	61,015	30,507	0	観光案内用タブレット端末等
印刷製本費	17,058	17,058	8,529	0	案内通知印刷等
通信運搬費	12,054	12,054	6,027	0	案内通知等
委託料	302,832	302,832	151,416	0	研修講座委託料
使用料及び賃借料	94,187	94,187	47,094	0	視察研修バス代
				0	
				0	
				0	
				0	
計	904,746	904,746	452,373	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	歩くまち空間創出事業
事業主体の名称	門前マルシェ実行委員会
代表者の名称	委員長 井汲 義晃
事業主体の所在	〒320-8601 足利市本城3丁目2145(足利市観光振興課)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成30年4月2日 ・構成員等: 足利市内の企業経営者、足利市観光協会、足利市など
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市は、「足利学校」「鏝阿寺」など、貴重な歴史遺産が中心市街地にまとまって存在するという、近隣市には無い特色と地理的優位性がある。その特長を最大限に生かして、まちのにぎわいを再生し中心市街地の活性化や交流人口の増加による経済活性化につなげる取り組みを行っていくことが課題である。 ・少子高齢化・人口減少が急速に進む中、高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健幸＝健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりである「スマートウェルネスシティ構想」を推進している。 ・「スマートウェルネスシティ構想」の実現の一つとして、人が集う魅力ある場所を創出し、回遊性を高め、まちのにぎわい創出につなげる取り組みを行っていくことが課題である。
事業目的	<p>「スマートウェルネスシティ構想」の実現の一つとして、魅力ある場所を創出し人を集め、回遊させることにより、にぎわいを創出につなげる取り組みを実施する。自動車の流入を制限する区域を設定し、安全・安心に歩かせることにより、日常の身体活動量の増加による健康度の向上、医療費の抑制、さらにはまちの元気につなげる。</p> <p>そのために、まち歩き拠点施設である「足利まちなか遊学館」との連携により、週末に学校様通りを歩行者天国区間として開放し、催事を開催することにより、市民や観光客の交流によるまちのにぎわいの創出を目指す。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>【事業概要】</p> <p>①車両の進入を規制してのイベントの開催 開催日: 平成30年6月3日(日)、10月14日(日)の年2回開催 開催場所: 足利学校様通り</p> <p>②イベントをさらに充実させるためのテーブル、イスの購入</p> <p>③イベントを広く周知するため、ホームページやSNS等を使った広報を行った。</p> <p>【KPIにつながる取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSなど、紙媒体以外での周知を行い県内外からの交流人口の増加。 ・歩行者天国を使ったイベントの実施により交流を図り、市内外からの観光誘客につなげた。 ・歩行者天国区域から市内回遊を促進させ、まちのにぎわいを創出し、中心市街地の活性化を図った。 <p>【平成31年度】</p> <p>さらに開催会場の拡大を図り、より多くの集客を図れるイベントに成長させる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H26 355万人 → H31 500万人</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①車両の進入を規制してのイベントの開催 ②イベント実施のためのテントの購入	①車両の進入を規制してのイベントの開催	①車両の進入を規制してのイベントの開催		①車両の進入を規制してのイベントの開催
事業費	821,037	843,001	800,000	2,464,038	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	400,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	21,037	43,001	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	吉新 知照
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歩くまち空間創出事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	800,000	
自主財源	43,001	出展者負担金43店舗×@1,000円、その他自主財源
計	843,001	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	250,000	250,000	125,000	0	イベントリーダーへの報償費 イベント出演料
印刷製本費	242,680	242,680	121,340	0	ポスター 100枚(A1:50、A2:50) チラシ 23,000枚(A3:13,000、 B4:10,000)
賃借料	176,600	176,600	88,300	0	テント用ウェット 個借用 グランドピアノレンタル
広告費	80,000	80,000	40,000	0	ホームページやSNSを作成しての 広告宣伝費用
消耗品費	39,308	19,080	9,540	20,228	
保険料	23,420	23,420	11,710	0	イベント保険料
通信運搬費	8,220	8,220	4,110	0	
次年度持ち越し	22,773			22,773	
計	843,001	800,000	400,000	43,001	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利尊氏公マラソン大会
事業主体の名称	足利尊氏公マラソン大会実行委員会
代表者の名称	会長 和泉 聡
事業主体の所在	足利市本城三丁目2145(市民スポーツ課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:生涯スポーツの推進を図ると共に、足利市のPR及び活性化に寄与することを目的とする。 ・設立年月日:平成26年7月16日 ・構成員:足利市、足利商工会議所、栃木県安足土木作業事務所、足利市自治会長連絡協議会、足利市農業協同組合、(公財)足利市みどり文化・スポーツ財団、足利市体育協会、足利交通安全協会、足利陸上競技倶楽部、足利市レクリエーション協会、足利市交通指導員連絡会、(一社)足利青年会議所、足利市スポーツ推進委員会など
当該事業に係る地域の現状と課題	足利尊氏公マラソン大会は、今年度で第41回目の開催となり、近年の健康ブームから参加者は約5,000人ほどの市民に定着したイベントとなった。また、市外からも約3,000人の参加があり、スポーツイベントという枠にとどまらず、観光振興やエンタープロモーションにおいても大いに活用が期待される。しかし、大会運営にあたり交通規制のための委託料等経費が年々増加している。
事業目的	本来の目的である生涯スポーツの推進を図るとともに、足利市の魅力を全国に積極的に発信する絶好の機会になることから、本市の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【平成30年度】 [大会概要] ・マラソン大会の開催(種目:ハーフマラソン、10km、5km、3km、ベア):11月4日(日)開催。 ・レクリエーションイベントの開催:足利市レクリエーション協会の協力によりニューススポーツ体験コーナー等を開設。 ・レースコースの安全管理:コース内自治会による立哨員のご協力。 ・ポスター・チラシ等の作成:市内公共施設、各自治会等にポスター・チラシの配布 ・大会参加者のエントリー受付:スポーツエントリー、ランネット、電話申込など幅広い年代に対応できる複数方法を起用。 ・実行委員会の開催:大会が盛会となるよう大会運営の内容について実行委員会に諮る。 ・オリジナルTシャツの販売:シンボルマークを作成いただいた「マツザワサトシ」氏にオリジナルTシャツのデザインを依頼し、販売を行った。</p> <p>[KPI向上に繋がる取組] ・市外から参加したランナーには、足利市の歴史や文化に触れていただけるよう、ナンバーカードの提示により中心市街地の文化施設(足利学校・市立美術館等)の入場料を無料(市内ランナーも可)とし、観光回遊性や消費を高める事業との連携した取り組みを行う。 ・市民参加の皆様には、生涯スポーツを推進するようイベントとして盛り上げていく。 ・ラッキー賞を創設し、賞品に市の名産品を活用するなど、観光PRに努めるとともに、大会参加後にはまちなかで文化財めぐりなどが出来るしかけづくりを行い、また仮装大賞を実施することで、多くのランナーが会場を盛り上げる。 ・毎年好評である足利市レクリエーション協会と連携したレクリエーションや遊びのイベントを開催し、ランナーの帰りを待つ家族や、会場を訪れていただいた親子が楽しめるような内容とする。また、自治会のご協力もいただき、応援旗を配布するなどコース沿道の応援者を増やす。</p> <p>【平成31年度】 前年度の取組を継続し、より多くの集客を得られるよう、オリジナル性のある参加賞の作成、足利市の特色を生かしたイベントの開催、観光PRとなるような効果のあるイベントに成長させる。さらにマラソン大会にとどまらず、大会に参加せずとも、休日を家族で楽しめるイベントとして内容を充実させていきたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載 【基本目標】まちの魅力を高め足利へのひとの流れをつくる 【KPI】観光入込客数 基準値:H26年度 355万人 → 目標値:H31年度 386万人 【KPI達成状況】H27年度 394万人、H28年度 411万人、H29年度 475万人、H30年度 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会の開催 ・レクリエーションイベントの開催 ・レースコースの安全管理 ・ポスター・チラシ等の作成 ・大会参加者のエントリー受付 ・実行委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会の開催 ・レクリエーションイベントの開催 ・レースコースの安全管理 ・ポスター・チラシ等の作成 ・大会参加者のエントリー受付 ・実行委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会の開催 ・レクリエーションイベントの開催 ・レースコースの安全管理 ・ポスター・チラシ等の作成 ・大会参加者のエントリー受付 ・実行委員会の開催 		
事業費	17,805,162	20,601,511	19,011,502	57,418,175	20,353,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,500,000	2,500,000	2,500,000	7,500,000	2,500,000
うち県交付金	1,250,000	1,250,000	500,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	15,305,162	18,101,511	16,511,502	49,918,175	17,853,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民スポーツ課
担当者名	近藤 真衣
電話	0184-20-2232
FAX	0284-20-2214
E-mail	s-sports@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利尊氏公マラソン大会	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
足利市補助金	2,500,000	
エントリー料	13,481,500	大人3,500円×3,069人、高校生2,000円×52人、小・中学生1,500円×334人、ペア3,500円×610組
諸収入	1,848,000	飲食ブース・企業ブース・物産ブース出展料537,000円、大会グッズ収入1,311,000円
協賛金	1,020,000	スタート・ゴールアーチ、ナンバーカード協賛1社、金銭協賛3社、大会応援金7社
前年度繰越金	161,385	
雑収入	617	利息等
計	19,011,502	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	4,095,525	2,500,000	500,000	1,595,525	参加賞等
(参加賞ミニバッグ)	1,231,200				6,000枚(単価:190円)
(給水所・選手用ドリンク等)	649,664				給水所144,320円、 ドリンク4,512本(単価:112 144個)
(入賞者商品代等)	342,160				2種50個、ラッピング
(ラッキー賞商品)	14,432				
(沿道応援用消耗品)	69,854				応援旗作成1,400本 (単価:46.2円)
(親子ペア用メダル代)	168,000				500個(単価:330円) 校正サンプル代3,000円
(イベント用経費)	39,503				
(救護・貴重品預所用)	45,379				
(協賛用消耗品代)	14,500				
(会場設置看板代)	165,000				
(スタート用プラカード代)	32,100				
(事前準備用消耗品代)	430,367				
(当日用消耗品代)	893,366				
印刷製本費	946,414	0	0	946,414	大会要項・交通規制チラシ・ ポスター等印刷
通信運搬費	718,077	0	0	718,077	ゼッケン・参加賞等事前発送 費等
委託料	11,259,235	0	0	11,259,235	エントリー業務・計測業務 交通警備業務委託等
使用料及び賃借料	461,112	0	0	461,112	シャトルバス、レンタカー等
次回大会開催準備費	1,176,139			1,176,139	
報償費	355,000	0	0	355,000	ゲストランナー等謝礼等
計	19,011,502	2,500,000	500,000	16,511,502	

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	まちなか賑わい創出事業
事業主体の名称	ARTあしかが実行委員会
代表者の名称	栗田 俊英
事業主体の所在	足利市本城3丁目2145
事業主体の概要	<p>・団体の目的:アートを通して本市の魅力を感じてもらうとともに、関係者と連携を図ることで、観光誘客及び商業振興を目的に開催するアートイベント「ARTあしかが」の円滑な運営</p> <p>・設立年月日:2017年11月8日</p> <p>・構成員等:市内の美術館又はギャラリーの責任者、市内で作品展示を行うアーティスト又は団体の責任者、学識経験者など</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市では、第7次足利市総合計画の戦略プロジェクトに、「まちの魅力発信プロジェクト」を掲げ、歴史・文化・自然・風土などの豊かな地域資源を磨き上げ、まちの魅力を更に高め、地域のおもてなしと地域の特性を活かしながりにぎわいと魅力あるまちづくりに取り組んでいる。また本市には、本市に魅力を感じる市民団体などが市内の古民家等を活用した作品展示を行っている。</p> <p>今後一層の交流人口の増加によるにぎわい創出のためには、各種団体の連携と一体的な広告宣伝が課題である。</p>
事業目的	<p>2018年春の栃木デスティネーションキャンペーンに併せて、市内の美術館、ギャラリー、古民家等を会場としたアートイベント「ARTあしかが」を開催することで、首都圏などからの更なる交流人口の増加による地域活性化を図る。</p> <p>また市民がアートを通して、普段気づかない本市の魅力を再認識することで、シビックプライドの醸成を図る。</p>
事業概要	<p>■ARTあしかがの事業概要</p> <p>①あしかがアートのクロス2018の開催 市立美術館及び市内ギャラリーが連携するアートリンクinあしかがや、市内で作品展示を行う各種団体が、栃木デスティネーションキャンペーン期間中に連携し、アートイベント「あしかがアートのクロス2018」を開催した。実行委員会では期間中、各種展示を一体的に楽しんでいただけるような企画展等の開催、イベント全体の広告宣伝、関係団体との連携を図るための実行委員会を開催し、各種展示については各種団体がそれぞれ自主的に行った。 会期:2018年5月13日～6月16日 会場:市内の美術館、ギャラリー、古民家等 19か所 来場者数:7,700人</p> <p>②あしかがアートのクロス2019に向けての準備 2019年度に開催する「あしかがアートのクロス2019」に向けて関係者打合せ、企画展などの計画、広告物の製作を行った。 内容:パンフレット(A5 20P 4,000部)、ポスター(A2 200部)、フライヤー(A4 15,000部)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(H31年度目標値) 【KPI】H26 355万人 → H31 400万人 【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	29年度			30年度			31年度			支援期間の 事業費計	
	29年度	30年度	31年度	29年度	30年度	31年度	29年度	30年度	31年度	支援期間の 翌年度	
事業内容	<p>【ARTあしかが2018】 ①企画展等の計画 ②イベントの広告宣伝 ③関係者協議</p>	<p>【ARTあしかが2018】 ①企画展等の開催</p> <p>【ARTあしかが2019】 ①企画展等の計画 ②イベントの広告宣伝 ③関係者協議</p>	<p>【ARTあしかが2019】 ①企画展等の開催</p> <p>【ARTあしかが2020】 ①企画展等の計画 ②イベントの広告宣伝 ③関係者協議</p>								<p>【ARTあしかが2020】 ①企画展等の開催</p> <p>【ARTあしかが2021】 ①企画展等の計画 ②イベントの広告宣伝 ③関係者協議</p>
事業費	350,000	795,553	700,000				1,845,553			700,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	350,000	600,000	600,000				1,550,000			600,000	
うち県交付金	175,000	300,000	300,000				775,000				
市町支出金 (ハード事業分)							0				
うち県交付金							0				
その他自主財源等	0	195,553	100,000				295,553			100,000	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画政策課・地方創生担当
担当者名	柏瀬 誠
電話	0284-20-2103
FAX	0284-21-1384
E-mail	kikaku@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	まちなか賑わい創出事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	600,000	
協賛金	140,000	
その他収入	55,553	
計	795,553	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	80,000	80,000	40,000	0	
印刷製本費	436,320	436,320	218,160	0	パンフレット(A5 20P 4,000部 来場者用) ポスター(A2 200部 店舗等) フライヤー(A4 15,000部 告知)
委託費	57,000	57,000	28,500	0	
消耗品費	104,587	24,520	12,260	80,067	
食糧費	15,127	0	0	15,127	
会場使用料	100,000	0	0	100,000	
雑費	2,160	2,160	1,080	0	
次年度繰越	359	0	0	359	
計	795,553	600,000	300,000	195,553	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	歩き愛です事業
事業主体の名称	足利歩き愛です実行委員会
代表者の名称	委員長 西村晃
事業主体の所在	〒326-0807 足利市大正町863番地7(足利市健康増進課)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:歩いて健康になる、歩きたくするのしいまちをつくるために推進しているスマートウェルネスあしかがの取り組みの一環として、足利歩き愛ですを実施するにあたり、その円滑な運営と官民一体となった新しいイベント創出のため設置。</p> <p>・設立年月日:平成28年10月24日</p> <p>・構成員等:GS世代研究会、足利商工会議所、足利市観光協会、足利商業連合会、足利市坂西商工会、足利市</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・栃木県は人口1人あたりの乗用車保有台数が全国2位であり、近所のお店などにも車で出かける人が多い。</p> <p>・国の調査などでは、健康づくりのために行動する人と行動しない人が3:7の割合という結果が出ている。</p> <p>・少子高齢化・人口減少が急速に進む中、足利市では高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健幸(けんこう)＝健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりである「スマートウェルネスシティ構想」を推進している。</p> <p>・「スマートウェルネスシティ構想」の実現の一つとして、気軽に参加できる楽しいイベントを開催し、まちなかを回遊してもらうことにより、まちのにぎわい創出につなげる取組みを行っていくことが課題である。</p>
事業目的	<p>・運動のきっかけ作りから継続へとつなげる(専用歩数計を使用し1万歩を目標に歩くイベント)</p> <p>・市内店舗の協力による商業・サービスの活性化、まちのにぎわい創出(専用歩数計提示による優待店舗のサービス)</p> <p>・観光誘客(歩き愛ですは共通の専用歩数計を使用し全国で開催されている 専用歩数計持参者は参加料無料)</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 足利歩き愛ですの開催 日時:1月20日 受付開始:午前9時 受付後順次スタート 最終ゴール:午後2時 場所:大日苑 鏝阿寺 西側イベント広場(スタート・ゴール会場) 足利七福神巡りウォーキングコース 約8km 内容:専用歩数計を使用し1万歩を目標に足利歴史クイズを解きながら歩くイベント ・参加者から参加料1,000円を徴収し、その参加証として専用の歩数計を配布(専用歩数計持参者は参加料無料) ・11か所のチェックポイントで足利歴史クイズを出題 1問正解するとボーナス歩数1,000歩 ・スタート地点では協力団体によるブース出展(減塩アドバイス、準備体操等) ・ゴール後に協賛企業(53社)からの豪華完歩賞を贈呈 ・歩数計の歩数プラス歴史クイズ正解歩数が20,000歩達成した方は、豪華景品の抽選くじに参加 ・市内優待店舗(42店舗)は専用歩数計の提示により様々なサービス提供の協力 ・健幸(けんこう)マイレージスタンプ対象事業として開催 ・参加者約1,300人</p> <p>【平成31年度】 コースや時期の変更を検討しながら継続的に実施していき、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】健幸マイレージ参加者数(平成31年度目標値) 【KPI】H28 4,000人 → H31 11,000人 【KPI達成状況】H28 1,273人 H29 2,046人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	足利歩き愛ですの開催	足利歩き愛ですの開催	足利歩き愛ですの開催		
事業費	1,139,538	1,400,000	1,400,000	3,939,538	1,400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	299,538	300,000	300,000	899,538	300,000
うち県交付金	149,769	150,000	150,000	449,769	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	840,000	1,100,000	1,100,000	3,040,000	1,100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康増進課スマートウェルネスシティ担当
担当者名	横田 秀行
電話	0284-40-3112
FAX	0284-41-1977
E-mail	wellness@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歩き愛です事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	299,538	
協賛金等	150,000	
諸収入	690,000	参加料(歩数計代) 1,000円×690人
計	1,139,538	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	857,239	118,123	59,062	739,116	歩数計代、ビニール袋代、石灰代等
食料費	26,460	0	0	26,460	従事スタッフ昼食代
印刷製本費	235,440	166,950	83,475	68,490	ポスター(B2 200枚) チラシ(A4 15,000枚) マップ(A5 12P 2,500冊)
通信運搬費	8,671	6,150	3,075	2,521	チラシ、ポスター等郵送代
手数料	1,728	1,225	612	503	振込手数料
使用料及び賃借料	10,000	7,090	3,545	2,910	施設使用料
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,139,538	299,538	149,769	840,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合